

令和元年第6回熊野町議会全員協議会

会議録

1. 招集年月日 令和元年8月1日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和元年8月1日

~~~~~〇~~~~~

4. 出席議員（16名）

|          |           |
|----------|-----------|
| 1番 水原耕一  | 2番 福垣内邦治  |
| 3番 光本一也  | 4番 中島数宜   |
| 5番 尺田耕平  | 6番 竹爪憲吾   |
| 7番 諏訪本光  | 8番 沖田ゆかり  |
| 9番 片川学   | 10番 時光良造  |
| 11番 民法正則 | 12番 荒瀧穂積  |
| 13番 山吹富邦 | 14番 山野千佳子 |
| 15番 中原裕侑 | 16番 大瀬戸宏樹 |

~~~~~〇~~~~~

5. 欠席議員（0名）

~~~~~〇~~~~~

6. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 西村隆雄

~~~~~〇~~~~~

7. 説明のため出席した者の職氏名 なし

~~~~~〇~~~~~

8. 案件

【議会】

- (1) 各常任委員会の活動状況について（報告）
- (2) 議会運営委員会の活動状況について（報告）
- (3) 議会広報特別委員会の活動状況について（報告）
- (4) 災害に関する特別委員会について（協議）

(5) その他

9. 議事の内容

(開会 9時30分)

○議長(大瀬戸) おはようございます。

議員の皆様方、本日はお忙しい中を、全員協議会にお集まりをいただきまして、ありがとうございます。

皆様からさまざまな御意見をいただきながら、本日の全員協議会を円滑に進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、ただいまから全員協議会を開会いたします。

本日の全員協議会は、議会からの報告案件3件、協議案件1件について御協議をいただきたいと思っております。

それでは、早速、協議に移ります。

○議長(大瀬戸) 報告案件、各常任委員会の活動状況について、各常任委員長から説明を受けたいと思っております。

それでは、竹爪総務厚生委員長、お願いします。

○総務厚生委員長(竹爪) 7月10日に総務厚生委員会を開催させていただきました。

このときに決めさせていただいたのは、重点調査項目を3点ほど決めさせていただきました。

1番目に、ずっとこの委員会では熊野町観光交流拠点整備構想について、筆の里工房の上の整備についてを委員会として継続審議とさせていただきました。調査。

それから2番目に防災についてですが、新たなハザードマップの作成や地域防災計画の防災行政無線のデジタル化、それから東部地域防災センターがよりよい施設になるように調査研究を行うということが2つ目の項目に挙げさせていただきました。

3つ目、民生のほうで健康づくり・介護予防についてということで、健康づくり、高齢者ができる限り健康を維持し、介護が必要となる状態にならないようなことに取り組んでいますけど、そのことに関して、健康づくり・介護予防の調査研究を行うということを決めさせていただきました。

それで、この調査項目について、実はこの8月のまた日にちは変わるんですけど、3回目のまた委員会を開催させていただくということになっております。それにはまた研修の場所とか、調査を前向きに持っていくということで8月の4日を想定しております。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 次に、片川文教委員長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○文教委員長（片川） 文教委員会、7月24日、防災教育の先進地、徳島県阿南市の津乃峰小学校に視察に行っていました。続きまして、25日、高知県の防災教育の先進、県を中心に防災教育を実施されております。そこで、防災教育研修会のモデル校の実践発表と、そしてまた学校安全対策課、防災危機管理監とミーティングいたしまして、勉強してまいりました。

今後また精査し、熊野町に生かせるところを検討していきたいと思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 次に、尺田産業建設委員長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○産業建設委員長（尺田） 産業建設委員会より報告いたします。

7月1日に第1回産業建設委員会を開催いたしました。内容でございますが、平成30年度主要事業実績及び令和元年度主要事業計画につきまして、執行部より報告を受けました。また、今年度の産業建設委員会活動計画を協議いたしました。

委員会終了後、大原ハイツ緊急避難道路の現地視察を行いました。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 各常任委員長からの報告が終わりました。

この報告につきまして、質疑がありましたらお願いします。

質問はございませんか。

それでは、ないようですので、各常任委員会の活動状況についてはこの程度として、次の報告に移りたいと思っております。

次の協議に移りたいと思います。

〇議長（大瀬戸） 協議案件、災害に関する特別委員会について、協議したいと思います。

災害に関する特別委員会につきましては、5月31日及び7月1日の全員協議で、設置について協議したものの、結論が得られず継続協議となっております。

この件につきまして、再度、質疑並びに御意見があればお願いいたします。この件につきましては、今まで2回行っておりますけれども、意見が重なっても結構ですので、御意見をよろしくお願いいたします。

意見ございませんか。どなたでもよろしいですが。荒瀧議員。

〇12番（荒瀧） ぜひ取りまとめをちょっとしてもらいたいんですが。前回までの、どんな意見があって、どういう方向づけが出たということ。

〇議長（大瀬戸） 取りまとめということですが、それは皆さん出席されておりました関係で、賛否両論が出たということでございます。するべきであるという考え方の方、それから別の形でしたほうが良いという方、賛否ありましたので、ここでもう一度御意見を聞かせてもらえたらと思いますが、どうでしょうか。

片川議員。

〇9番（片川） 前回も前々回も、どうも私、論点がずれておったような気がするんですね。それで、何を議論すべきかということが、設置をすべきなのか否かが一番の問題でございまして、前回、改選前に最終報告書、やむを得ずあの時期で出さざるを得なかった。それで一応終結をしたという感覚の捉え方の方がたくさんおられるのでしようけど、それはそれとして、復興についても町民代表として協議していかなければいけない。と同時に、災害、災害について、今後またいろいろな災害、予想されております。それについて、町民代表として、特別委員会を議会として設置をしておくべきであろうというのが一番の課題だろうと思うんですね。そして設置をしてないと、前回までに策定いたしました要綱、これが議会として生きてこないんですね。3月で終わったんだという認識を、現時点での議会が持つておるということは、町執行部においてもそういう認識なされるようになります。それで町民においてもそういう認識な

されるようになりますので、まず、どういうやり方云々というのは議論はその後ですから、まず設置をしておかなければ、災害が今後起きたときに、議会としては何の対応もできない。それで、議員も一人町民であるといいながらも、これ勝手のいい解釈でございまして、町民から見たときにはそうばかりの人とは言い切れない部分が多々ございまして、どういうやり方、恐らく拒絶反応が、前回までの委員会の中で再々行うことについて拒絶反応があったのかなというふうに私は前回までの協議で捉えておりますが、それはまた別問題でして、やり方は今後ということで、まず設置をしないと町民に対しての責任は果たせない。ここだけ一点、頭に置いていただいて、自主防災云々等は自治会議員でございませぬので、皆さん、町民から負託を受けた町議会議員だということを頭に置いていただいて、まず町民代表の責任を負うところが、まず一点、設置。これが第一番のことだろうと思います。その後のやり方というのに関しては、また皆さんで協議されればよいと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

ほかにございますか。荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 議長の司会進行からすると、それぞれ意見が違うというまとめ方ですが、私はみんな一緒の方向を向いておるわけです。町民の命を守るという方向ではみんな一緒なんです。自主防災組織でええというビジョンの方と、設置はしておって、何かあったときにしようというビジョンの方と、もう一つは、もっと先も見て、地震のことも踏まえて、また災害起こるぞと。まちの弱さが見えたわけですから、今回の総合計画の中にも当然防災の中身は出てくると思うんですが、そういうビジョンの差の違いだけなんです。だから、違う意見ではないですよ、これ。その地域だけで済む問題なのかどうかということもよく当然踏まえておかないけません。私も老人会の世話をしており、呉市の自治会のほうの自主防災組織の中には入っておる。当然でございます。

そういう意味で、根っことして、やはりこういう機会に総務・建設・文教、串刺しになる特別委員会を持つことで、議員皆さんの知識であり、教養であり、能力が高めていかれると。必ずこれはチャンスになるという意味で、ぜひ私は設置を求めるものでございます。

ます。この災害対策委員会を設置するというのは、設置をしていないほうが逆に町民から見ると議会に不信を抱かれることではないのかなと思います。設置をしておくことによって、災害が起きたときにすぐにこの要綱や前回決めたものが生きてくるということもございますし、また特別委員会というのは、そもそも最低1年間は議論すべきものであります。それは今まで議員定数の調査特別委員会などさまざまございましたが、1年間以上、最低1年は議論をしています。なぜこのたび3月で一旦切ったかということ、改選があったからです。改選がなかったら、当然1年間続いていた委員会ですので、私はこれは必ず設置すべきと考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかにございますか。光本議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） ちょっと私も4月に議員になって、去年の特別委員会のほうの会議録全部読みました。最終的に出てきた最終報告も読みました。

先ほど片川議員が、とりあえずつくっておくのが大事なんだと。今の沖田議員もそうですけども、こういうような発想、初めて聞きました。本来はテーマ、こういうテーマがあると。いつまでにこのテーマは議会としてきちっと結論を出そう、調査しようということがあって初めてやはり委員会は設置なり開催すべきものだと思います。

つくってから考えましょう。確かに対住民に対してのポーズも大事かもわかりませんが、やはりそれでは具体的に何をやるんだと、設置して。何をいつまでに結論出す。それをきちっと町に、執行部にぶつけるということがないと、会議録見よっても、非常に低調な議論のように私は見えました。やはりその辺が、もうちょっと議員も勉強して、やはり町のほうできちっと検証委員会踏まえて、これは議長も出席されてます、委員として。検証委員会踏まえて、答申出したと。町としてもできるところはきちっとやっていこうということで復旧・復興に取り組んでおられます。合わせて、防災・減災の取り組み、対住民に対しての周知等についても、これから、今順次取り組んでおるといように聞いております。というようなことで、やはり議会の役割というのはやはりきちっとそういった町の執行部の進捗状況に対してチェックする、意見する、修正するということをきちっとやっていく。全協でも報告が定期的にあるように聞いております。ということなので、ちょっと抽象的でテーマがないような委員会をつ

くってというのは、私は反対です。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 大変参考になる意見だと思います、光本議員のですね。設置が大事だ
という聞かれ方もあったかと思うんですが、これ、みんな同じ方向、向いておるわけ
ですから、まちの安全、災害死をゼロにしようという方向です。

そんな中で3カ年計画、今ありますね。復興3カ年計画というのを立ててらっしゃい
ます。このあたりも当然チェックしていかなくてはいけない。県がされること、国が
されること、町がされること。その財源はきちっとあるのかどうか。だから、テーマ
としてはさまざま考えられるんです。だから、今進んでる状態からすれば、テーマと
すれば、今お話からすれば、ないというのではない。あるんです。だから、そのあた
りもまずはしながら。まず、議員皆さん、委員の皆さんの力をつける。審議の仕方、
最低、議員というのは議案を審議しなくてはならないんですが、その中の審議の能力
も高めていく意味でも、こういう特別委員会、テーマを設けて進めていくことは非常
に大事なことだと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

尺田議員。

~~~~~○~~~~~

○5番（尺田） 先ほど光本議員さんが言われちゃったように、テーマが今ないのにつく
る必要はないかなというふうには前から思っておりまして、ただ、住民に対してこう
いったものを設置するというのも、一つ大事なことであると思うし、緊急なときが起
こった場合にそれを招集する場というのは、設置しておくべきではないかなというふ
うには思っておりました。

前回の災害対策特別委員会におきまして、熊野町議会における災害発生時の対応要領
というものが作成されました。これ、この中に熊野町議会災害対策連絡会議というも
のが設けられておるんですが、これは災害対策特別委員会というものに相応するもの

ではないのかなというふうに私は個人的に思っておりますので、今わざわざ、はっきりしたテーマがないのにも関わらず、災害対策特別委員会というものを今設置しなくてもいいのかなというふうに思います。災害が起こった場合や、もしテーマがはっきり明確に決まったときには、この要領の中でうたわれておる熊野町議会災害対策連絡会議を開催すればいいのかなというふうに私は思っております。

また、これだけ賛否が分かれてるんで、議長采配でどうするかというのは決められちゃったらどうなのかなというふうに、個人的には思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

いろんな御意見が出たと思います。まだありますか。片川議員。

~~~~~○~~~~~

○9番（片川） テーマは多々あるんですよ。ただ、それを取りざたして、大げさに言う気がないから皆さん我慢してるだけであって、テーマはたくさんあるんです。それがあることを、ないように言われる議員の感覚は私にはわかりません。今のこの時点です。去年のあの災害を体験して、経験して、そしてそれでまだ苦しんでおられる町民もたくさんおられる。それで、復興へ向けて行政としてできることは、一生懸命しておられるのも感じております。ただ、この町民目線での議論というものは、執行部でないです。議会ではできないんです。低俗な意見が出るのも多々我々も聞いて経験しておりますし、ただ、町民に対しての責任というものを、この災害についての責任、復興等だけじゃないんです。復興、今行政が行っておる復興は本当に復興なのか。ハード面、ソフト面に関してもそれは確かに一生懸命やってくさっております。その中でも口を開けず苦しんでおられる方、まだたくさんおられるんです。それを選挙がゆえに、改選がゆえに一旦閉じた。はたまた、今皆さんがおっしゃることを選挙時に踏まえたら、信じられない光景がたくさんございましたね、選挙戦中にね。災害を利用して選挙された。私もそういうふうに感じました。どこまで本気で考えておられるのかな、この議員は、立候補者は、というのは多々感じてまいりました。そういうこともやはり、行政的に執行部がやることを、執行部のまねをして議会はすべきでないんです。町民代表として、町民の気持ちをいかに酌んでいくのか。そして経験された方というのは、ここへ座っておるような空気でおられませんよ。そんな気持ちじゃない。我々が外から見ておるような、そんな気持ちで生活しておられんですよ。

そういうことも捉えながら、何を議論していくべきかという課題はたくさんありますよ。皆さんも自分の腹の中でわかっておるはず。これ議論せにゃいけん。このことも考えておかないけん。それで心のどこかでは、あしたの日に起きはせんよ、みんな思うておる。あした起きるかもわからん。7月のあの日はいつ、あしたの日に降りかかってくるかも、きょう降りかかってくるかもわからない。そういう危機感をもった防災についての取り組みというのを、行政は行政としてのやり方があるんです。これを否定すべきものでもないし、むしろ応援していかにゃいかん。がしかし、行政と違う、町民代表の議会が気づくところは、この16人の頭で必ずあるんですね。それを出そうとしてない。出す意識を持つか持たないかですよ。いずれにせよ、災害に対しての、いざというときの対応、これ、特別委員会がないとできません。これが一番の大きな問題点であると私は考えておりますが、議論については、課題というものはたくさんありますよ。自分たちが出す気があるかないか。それにふたをして、見て見ぬふりをして通るか通らないか。が起きたときには、ああじゃったんじゃがの、こうでした。去年の7月思い出してください。我々の災害に対する訴え方、間違おうておったの。どこかで、ない思いよったの。あの時は皆さん、そう感じたはずですよ。もう一年たったら忘れるんですね。これ非常に、その感覚が私は無責任だと思います、議員としてですね。いろいろなパワーバランスでいろいろな力が働いておるんだろうと思います。抽象的なものの言い方をせざるを得ないのはそこにもある。私もそれは感じております。いま一度、去年の災害の日と選挙のときに振り返ってみられて、もう一度よく考えていただきたいなど。議会としての責任をどう負うのか。それがゆえの、まず特別委員会の設置は必要だという意味です。わざと抽象的な発言をして議論をしておるわけでございまして、その辺も皆さん方よくわかっておられると思うんですね。ただ議会として、責任が負えるのか、負えないのか。そこはよく考えていただきたいと思ひます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

尺田議員。

~~~~~○~~~~~

○5番（尺田） 済みません、先ほど言おうと思ったことをひとつ忘れたんであれなんですけど、テーマがどうのこうのいう話はしたんですけども、一言に災害対策とか復

旧・復興といっても、多岐にわたります。教育のほうのことにもかかわるし、ソフト面・ハード面、各常任委員会でそういった専門的なことについては協議をしていけばいいというふうに私は思っております。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） その他ございますか。諏訪本議員。

~~~~~○~~~~~

○7番（諏訪本） 私は、このたびの復興やらも大事なことなんですけども、私の浅はかな知識の中では、先ほどもちょっと出ておりましたけども、これからの地域防災計画がまず私は基本のスタートになるのではないかなというふうに思っております。だからそのことで前回も6月の議会で一般質問をさせてもらいました。秋口にはできるという話も聞いておりますけども、総務委員会のほうでも協議しましょうということは総務委員会で申し上げました。特別委員会とかこういったところでもしっかり議論をしていかななくてはならない。それが私は今後の防災計画の第一の基本だというように、それからまずスタートではないかという、私は思っております。ぜひともそういう検討する場をつくって、しっかりと町のほうと協議をしてまいりたいというふうに思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） もっとリアリティのある話をせないけんのかと思うんですが、実は呉地から川角にかけて、浸水地域というのがあるんです。もうこの20年のうちに3回、4回、床上浸水、床下浸水、被害を受けてらっしゃいます。川角地区は町がたくさん土地持ってらっしゃるんですが、今福祉施設ができております。これはその地区計画、町も一緒になられて地区計画でここを良好な住宅地に開発するという流れの中で、御提案があつて議決しておるわけですが、非常に危険な地域なんです。いつまでもたっても浸水、浸水する土地よと放っておかれるということは、大変住民にとっては難儀なことなんです。そういう意味では、一人が一般質問レベルでやったというて

もだめなんです、これ。議会が全体がまとまって、町の総合計画の中に取り入れながら、いかに浸水地域がなくなるような計画を立てるか。これはすぐにはできませんよ。でも、今ある災害で穴があいたところを直すだけでは、この解決は根本的にできないんです。だからその役目は、私はこの議会の中での役目だと。非常に困ってらっしゃいますよ、呉地の方。ぜひそこは皆さん、御理解いただいて、御協力いただきたいと思います。

~~~~~〇~~~~~

○議長（大瀬戸） 意見も出そろいました。

3回にわたりまして、皆さんの意見を聞かせていただきました。なかなかまとまる方向に行っていないという感じがしておりまして、採決で決めたいと思います。この採決は、起立によって行います。よろしいですか。

○議長（大瀬戸） 御意見あったら言ってください。

○15番（中原） 採決で決めるようなものではないと思います。

○議長（大瀬戸） といいますと。

○15番（中原） みんなの意見が、いろいろな意見があるのやけ、これ一致せにや、なかなか。採決で決めるものでないとは思うね。

○議長（大瀬戸） 採決で決めるものではないという意見ございました。ということは、どうでしょうか。何か。

○10番（時光） 採決でええんじゃないですか。

○議長（大瀬戸） 採決でいい。

○10番（時光） 意見出たんですから。皆さん言われたんですから。

○8番（沖田） 議長采配でいいと思います。

○議長（大瀬戸） 議長采配でよろしいですか、じゃあ。

（「はい」の声あり）

○議長（大瀬戸） では採決をしないということでよろしいですね。

（「はい」の声あり）

○議長（大瀬戸） 私一任でよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○議長（大瀬戸） では私一任とさせていただきます。

さまざまな意見を鑑みた上で、私の一任でさせていただきます。

結論を申し上げますと、特別委員会は、この時点では設立しません。しないという方向に決めたいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(大瀬戸) よろしいですね。

(不規則発言あり)

○議長(大瀬戸) それでは、この件につきましては、災害に関する特別委員会を設置しないということに決定いたしました。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) それでは続きまして、その他の案件に移りたいと思いますが、その他ですけれども、何かございませんか。

それでは、沖田議員。

~~~~~○~~~~~

○8番(沖田) 以前に各議員が入っている審議会の内容を全員協議会のほうで報告していただきたいということが前期にもありましたけれども、現在新しく議員がかわりまして、各審議会にどの議員さんが入ってらっしゃってて、審議会があったときにどういう話があったのかということをおのこの全員協議会の場で報告していただくということになっておりましたけれども、それはどのようになっているのかお伺いいたします。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) その点につきましては、今の段階でまとまっていないということですので、ちょっとまた後日相談しながらさせていただきたいと思います。

ほかにございますか。

ないようでしたら、それでは、以上をもちまして全員協議会は終了といたします。

(閉会 10時02分)

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

熊野町議会副議長